

第 1 回代表者会議 参考資料

春日部市の放課後児童クラブの現状を知ろう

2014年6月15日

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会

1. 春日部市における放課後児童クラブの歴史

春日部市の放課後児童クラブは、平成10年（1998年）4月を境に大きく変化しました。それまでは、父母たちが自主的に運営する学童保育（民設民営）が多くを占めていましたが、平成10年の児童福祉法改正（施行）を機に、市内の全小学校内に公設の学度保育が設置されたのです。それまでの「父母が自主的に運営する学童」から、「市が管理運営する学童」へ、劇的な変化がもたらされました。

「学童保育を運営（経営）する」という極めて大きな負担から、父母は開放されました。しかしながらこのことは同時に、「学童保育はこうあるべき」という理想を求める意識から、知らぬ間に父母たちを遠ざける結果にもなったのではないかと思います。

公設スタート前の春日部市では、ほとんどの学童保育が参加した「春日部市学童保育連絡協議会」が存在し、学童保育に関わる全ての問題を共通の課題としてとらえ、協力して対市交渉などを行ってきました。その活動は「春日部市学童保育の会」に受け継がれましたが、公設スタート以降、父母会の活動が低迷し、学童保育の会を脱会するクラブが増え、活動そのものが危うい状況となりました。

そこで2008年に、それまでの活動方法を全面的に見直し、各父母会の人的、金銭的な負担を軽減しながら、クラブ間の情報交換と協力を目的として、新たに「春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会」が発足しました。

<春日部市の学童保育の歩み>

公設民営、民設民営時代

1967年 大畑小、共同保育の会発足（春日部市初の学童保育）

「つくり運動」の時代

1972年 大畑小にプレハブ完成（公設民営）

1973年 埼玉県単独補助開始

春日部市学童保育連絡協議会発足

「施設確保」の時代

以降、備後、武里、藤塚など次々に学童保育がスタート

1978年 春日部市単独補助開始

1996年 春日部市学童保育の会発足

公設公営時代

指導員の継続雇用、高学年入室の危機

1998年 改正児童福祉法施行

市内全小学校敷地内に公設公営学童保育がスタート

「増設運動」の時代

市が設置し、春日部市福祉公社に管理委託

2005年 旧庄和町と合併

指定管理開始に先立ち、「福祉公社による運営継続性を求める要望署名」提出

2006年 **指定管理者制度導入**、春日部市福祉公社に随意指定（旧春日部市18クラブ）

2008年 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会発足

公募により、旧庄和町4クラブを福祉公社に指定

保育の継続性維持を求める要望書提出

「保育の質」を問う時代

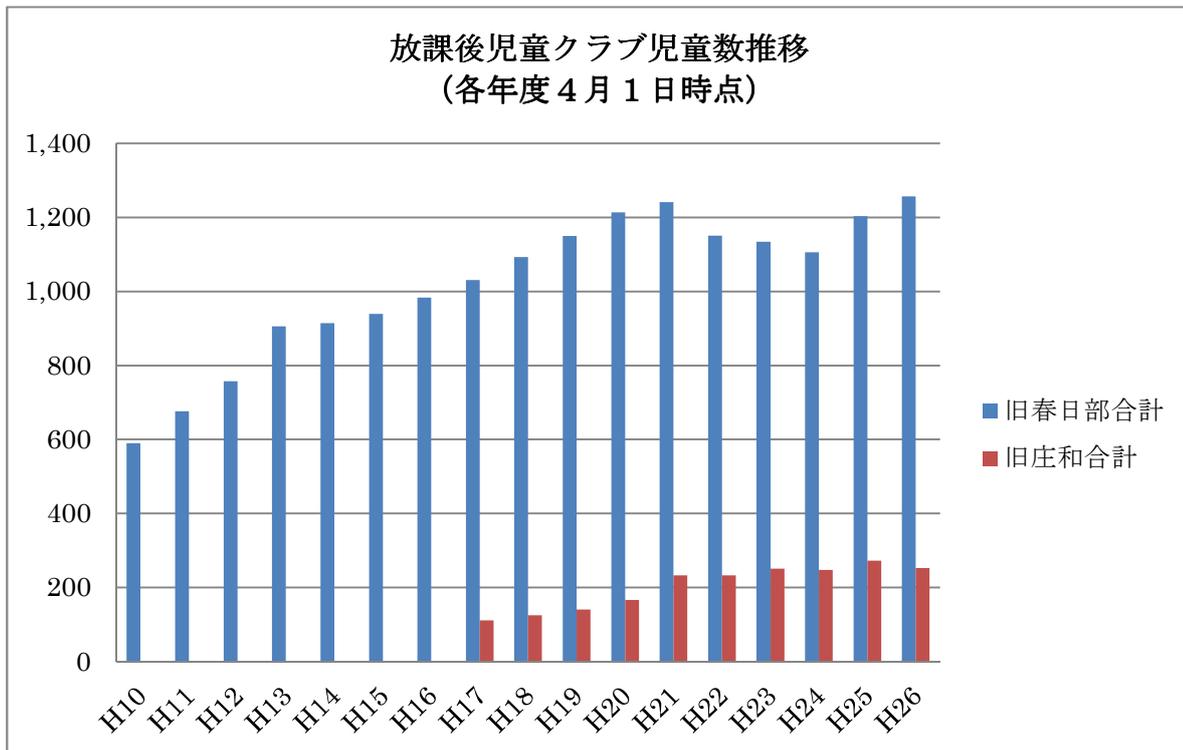
2009年 社会福祉協議会に随意指定（市内全22クラブ）

2010年 大規模クラブ分割により、22クラブ→30クラブに

2014年 公募により社会福祉協議会に指定（市内全22小学校31クラブ）

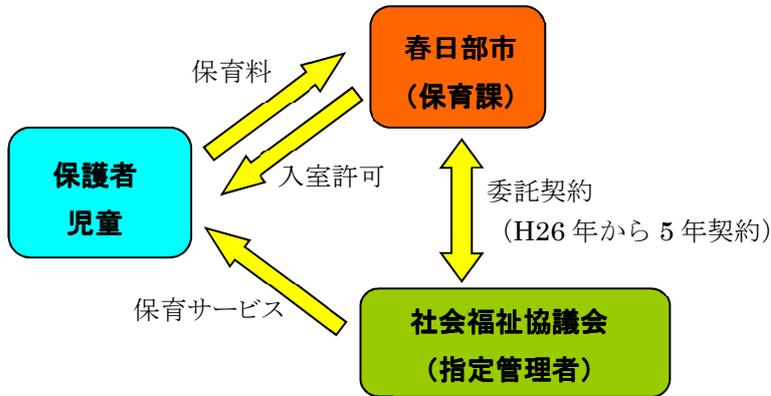
<入室児童数の推移>

H26年4月時点で児童数1510名（過去最多）。



2. 運営の状況

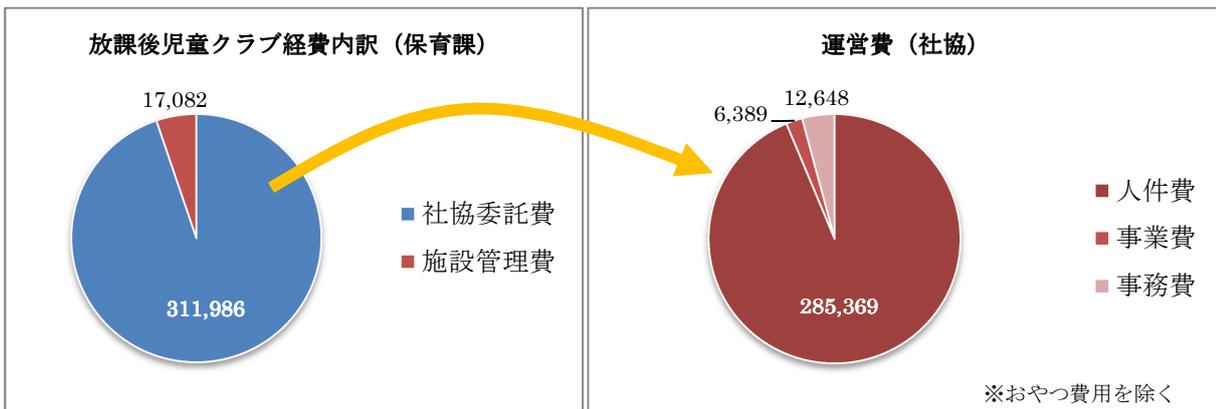
指定管理者制度により、春日部市からの指定を受け、春日部社会福祉協議会が運営。



<運営経費>

単位：千円

※運営費の94%が人件費



<在籍児童数、占有面積と指導員配置状況>

クラブ名		在籍児童数				専有面積 (m ²)	1人当り 専有面積 (m ²)	2クラブ 合計	指導員 配属	児童数 /指導員
		定員	低学年	高学年	合計					
粕壁放課後児童クラブ	1	45	31	12	43	167.7	1.76	95	2	22
	2	55	37	15	52					
内牧放課後児童クラブ		60	51	9	60	100.2	1.67	60	3	20
豊春放課後児童クラブ	1	55	46	10	56	183.4	2.06	89	2	17
	2	35	25	8	33					
武里放課後児童クラブ		70	45	11	56	169.8	3.03	56	3	19
幸松放課後児童クラブ	1	45	35	6	41	100.2	2.44	77	2	21
	2	40	32	4	36					
豊野放課後児童クラブ		70	42	12	54	126.0	2.33	54	3	18
備後放課後児童クラブ		60	37	3	40	145.7	3.64	40	3	13
八木崎放課後児童クラブ	1	60	50	13	63	146.5	1.59	92	3	21
	2	30	26	3	29					
牛島放課後児童クラブ		70	51	10	61	126.0	2.07	61	3	20
緑放課後児童クラブ		70	57	8	65	149.1	2.29	65	3	22
上沖放課後児童クラブ	1	70	37	11	48	146.1	3.04	97	2	24
	2	70	42	7	49					
正善放課後児童クラブ		70	53	21	74	126.0	1.70	74	3	25
立野放課後児童クラブ	1	45	44	7	51	161.3	1.79	90	3	17
	2	35	36	3	39					
宮川放課後児童クラブ		50	38	8	46	63.0	1.37	46	3	15
藤塚放課後児童クラブ		70	32	12	44	126.0	2.86	44	2	22
小淵放課後児童クラブ		70	40	13	53	126.0	2.38	53	3	18
武里南放課後児童クラブ		70	54	14	68	170.7	2.51	68	3	23
武里西放課後児童クラブ	1	35	29	7	36	168.9	1.76	96	2	18
	2	55	48	12	60					
南桜井放課後児童クラブ		50	46	7	53	105.9	2.00	53	2	27
川辺放課後児童クラブ	1	35	33	5	38	128.0	1.60	80	2	19
	2	40	39	3	42					
桜川放課後児童クラブ	1	50	30	4	34	220.9	3.07	72	2	17
	2	50	33	5	38					
中野放課後児童クラブ		50	34	14	48	64.0	1.33	48	2	24
合計		1680	1233	277	1510	3275.2	2.17	1510	77	20

1人当り専有面積が1.65m²に満たないクラブ

3. 大きな課題～指導員の労働条件

全国的に見ると、学童保育指導員の「約半数が3年以内に退職する」「約1割の学童保育で指導員の欠員がある」という調査結果があります。こうした問題は、指導員の雇用条件の劣悪さと密接な関係があると考えられます。

春日部市においても、毎年の様に指導員の欠員が生じ、応援やリカバリーのために別の指導員が過労で連鎖的に影響を受けるなど、安定した保育を揺るがす事態が少なからず生じています。

欠員補充のために新たに募集をかけても「応募者が居ない」というケースも多く、指導員の不足が恒常的な課題となっている感は否めません。行政からは「春日部市の給与は平均的に見れば良い方」という声も聴かれる様ですが、専門性と責任が求められる仕事としてはあまりにも軽んじられている現状があり、改善が求められます。

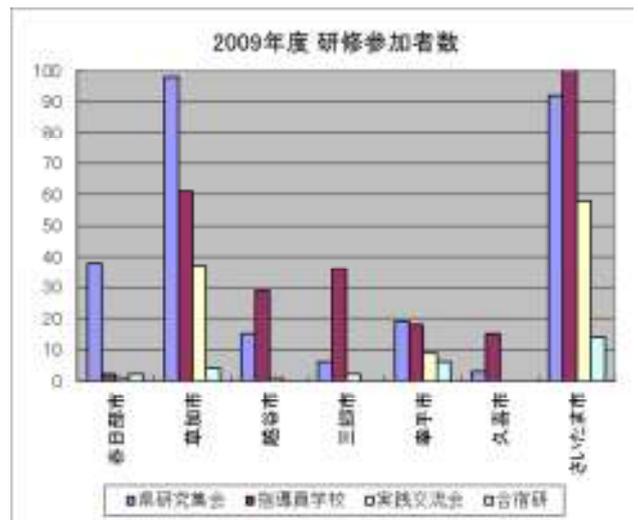
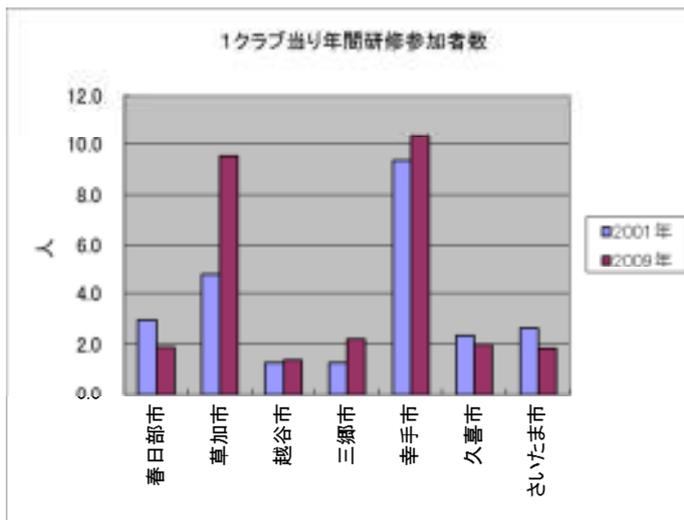
<指導員給与テーブル>

春日部市および草加市の放課後児童クラブ指導員年収比較

勤続年数 (経験年数)	年収(超勤手当を除く)	
	春日部市(H25)	草加市(H24)
1年目(0年)	2,124,276円	2,320,000円
2年目(1年)	2,157,792円	2,363,500円
.....
12年目(11年)	2,480,184円 ※12年目以降昇給無し	2,842,000円 ※12年目以降も昇給

<指導員の外部研修参加状況>

埼玉県や県連協主催の研修(外部研修)への参加状況



※おおよそ、指導員1人が年1回、外部研修に参加している状況(2009年)

平成 26 年度 新人研修部

春日部市指導員会

1 活動計画

5/7	歴史とあゆみ 指導員の仕事と役割	あしおと 講習室	阿部指導員 角間 洋子氏
7/1	危険予知トレーニング	未定	高橋美智子氏
9/30 10/28	年数別研修	あしおと 講習室	未定
1~2月 未定	フリートーク	未定	

※ 1~2年未満の人は4回目以降の研修を小川指導員が担当

平成 26 年度 研修部 年間計画

	日	テーマ	講師
第一回 研修会	6/23	救急法	看護学校教諭 高橋和恵 さん
第二回 研修会	11/25	未定	未定
第三回 研修会	2/24	父母に伝える	千葉大学・法政大学・法政大学大学院等 講師・カウンセラー 大竹直子 さん

その他 AEDの講習会を市内 5ブロックにて実施

6/19

パート職員も受講可能

平成 26 年度 学習部年間計画

春日部市放課後児童クラブ指導委員会

《活動方針》

- ・保育内及び指導員の資質の向上を目的とし、学習会を企画する。
- ・必要に応じて随時部会を開き、報告・内容検討努める。

《活動計画》

学習会	日時	場所	内容
交換研修	前期 6月23日(月) — 7月11日(金) 後期 9月8日(月) — 10月24日(金)	各クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・全指導員が対象 ・目的を持って研修をする ・報告書には目的にあった研修内容を記入する ・以前いたクラブへの研修は3年以上経ったところなら良い ・春日部市の児童クラブ全体の保育を統一し、向上させるためにも、出来事をありのまま書く
(未定)	10月28日(火) 9月30日(火)	あしすと	詳細未定
交換研修報告会	1月26日(月)	あしすと	報告書をもとに、各指導員が交換研修で学んだことを伝えあい、気づいたことは質問し、他クラブの様子を学ぶ。

《担当》

交換研修 . . . () () ()

10/28 . . . () () ()

交換研修報告会 . . . () () ()

《案》

- ・新人(入社1年未満)は交換研修を前期と後期2回行く。
 【前期は見学、後期は研修として参加】

・フリートークでは無く、レポートについて(書き方、討議の仕方)を全体で確認した方がいいのでは？

沿線・県 研修会 年間予定表

渉外担当

	県連協 主催	沿線 主催
5/25 (日)	県 研究集会 さいたま会館	
5/30 (金)	県基礎講座 春日部視聴覚センター 高崎市指導員 土屋みず子氏	沿線 第一回 学習会 (県と共催)
6/22 (日)	全国指導員学校 北関東会場 上尾文化センター	南関東会場は横須賀
9/13 ~14	土~日 2日間 合宿研 (県活・内容未定)	
9/5		沿線 第二回 学習会 春日部視聴覚センター 立教大教授 大石幸二氏
10/11~ 12	全国研 岩手 (花巻・盛岡)	
11/9	県指導員学校 (県立大学)	
11		沿線 第三回 学習会 内容・会場未定
12月と 2月	障害児集中講座 (会場未定) 日曜 2回	
2		沿線 L10-1 討議 会場未定
11~1	労働問題基礎講座 (内容・会場未定) 水曜 午前中 9:30~11:30	
2/未	実践交流会 → 県 L10-1 討議 (会場未定)	
3/中	県新人研修 (会場未定)	
7/16	埼玉県主催・県連協後援 障害児担当指導員研修会 さいたま市民会館	うらわ